

【めむろ未来ミーティング日程 8】

令和6年1月11日(木)

15:00~16:05

- 参加者 7人
- 芽室町 町長、副町長、教育長
農林課長、環境土木課長、魅力創造課参事
政策調整係長
- 記録 広報広聴係

■対応・検討が必要な事項

なし

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
資料1 公共施設再配置構想
資料2 新嵐山スカイパークの在り方
- 4 意見交換

【参加者】

スキー場について。今年営業しなかったらリフトを架け替えなくては駄目だという話を聞いた。ワイヤー等も老朽化しており、来年リフトを架け替えてまで営業できるのか。今の考えをお聞きしたい。

【町長】

現状についてお話すると、1月25日に債権者集会が開かれる予定となっており、破産管財人からその日まで管理区域に入ってはいけない旨の通達を受けている。そこからリフトを点検し、降雪・圧雪の作業をしていくというのは現実的ではなく、今シーズンの営業はできないという形になった。

運輸局の方も安全性を気にしており、資格者がいなくては継続できない。資格としては社長であった副町長ともう一つ、索道管理者という資格が必要。これについては有資格者を会計年度任用職員として採用さ

せていただき、資格上は継続できる体制にしている。来年に向けては運輸局の指導が入るかもしれないが、現状の形で点検・整備をしっかりとやっていけば継続できる可能性がある。

私どもとしては、いきなり架け替えというより、何とか今の状況で継続できないのか、この1年で模索させていただきたい。来年の今頃には、新たな担い手がなければ、直営でも継続して稼働できないか考えている。

【副町長】

リフトは2本あり、両方とも古い。今は会社が営業許可を取っており、通常は会社がなくなると営業許可は廃止になる。一度廃止になると新たに免許の取り直しを要するが、新しい基準に合致していないため、様々な投資をしないと動かせないことになる。

何とか今の形のまま営業できないか、関係機関に事前に相談させていただき、営業の権利を会社から町に引き継ぐという手続きをしている。15日くらいには認可が下りる予定で、そうなれば休止扱いとなる。秋には点検が必要となるが、今の基準のままで動かせる形になると思う。一年休んでいるため、錆などあり動作確認をしなくてはならない。10月まで新嵐山社員だった現場担当者を会計年度任用職員として雇用したので、この冬は試験的に動かす形で点検していきたい。

なるべく今のままでやりたいと考えてはいるが、2つとも古いため、いずれかの時期には架け替えという問題は出てくる。その時にフルスペックで今まで通りなのか、統合して一本にするのか。検討しなくてはならない。

【町長】

様々な噂があることと思う。ただし、将来スキー場をやっていくことになれば、どこかで架け替えの問題が出てくるのは間違いない、

【参加者】

学校行事や大会のこともある。来年やる・やらないの判断は早めをお願いしたい。

【町長】

夏の段階から色々と準備しなくては間に合わないと思っている。スキースクールなどの団体とも話をさせていただいている。何とか来年の再開に向け動いていきたい。

【参加者】

この辺りの学校の今年のスキー授業は無くなるということか。

【町長】

残念だが、そうなる。上美生小学校はバスで忠類まで行ってスキー授業を行うと聞いている。自衛隊さんも訓練で使われているが、それができないということになってしまう。

【参加者】

スキー場リフトの件。いずれかは架け替えを考えなくてはならないとのことだが、だいたいどのくらいのスパンで、どのくらいの試算になるのか。

【町長】

以前に新嵐山活用計画というものを策定した際に試算すると、2本で8億円であった。しかし、今は資材費も高騰している。本当に2本必要なのか、一本化してうまく回せないのか検討が必要。最近では比較的安価でやっているところもあるようなので、そういったところを参考に決めていきたい。また、財源については上手く活用できるものがあればそれを使い、町の負担を軽減する考え。

最近はや暖冬で雪も少なく、正直どこまでスキー場としてやっていけるのか心配。今の積雪量では、天然雪でオープンできるような状況ではない。今までは降雪機を使って人工の雪をどんどん降らしているような状態であった。そういう意味では収支含めて非常に難しい部分ではあると感じている。

しかし、説明会以降、何とか早期にスキー場を再開してほしいとの声が非常に多く寄せられている。芽室のスキー場というより、十勝全体のスキー場だという意見もいただいている。そういった意味では、スキー

場だけでなく、新嵐山を再開する流れが自然であると考えている。

【参加者】

関係機関には既に相談に行っているのか。

【町長】

振興局とも話はしており、新嵐山の再生担当は内閣府にも行っている。国の補助制度や交付金など事前に調査し、条件を満たせば申請できるような形にしていきたい。町の単費では厳しいものがある。

スキー場の運営について、ありがたいことに現在複数の事業者から手を挙げていただいている。私どもの考えとしては、第3セクター方式を辞めようと思っているので、長く続けていただける民間事業者に入ってもらいたい。ただし、今のスキー場のクラスでペイするのは正直難しいと思っている。なので、エリア全体として、夏のことを含め色々な稼ぎ方をして、トータルの収支を黒字に持っていくような考えである。

【参加者】

今回の議会の決断は妥当だと思っている。あとはどういうふうに稼いでいくかではないか。

【町長】

町のルール、条例の中では町民の憩いの場、観光推進の両方を実現しようとしている。第3セクターという形で運営したものの、町民のことも考え、観光で人を呼び込むことも考えなければならず、中途半端になってしまった。今回私の中で整理しているのは、観光の部分は会社の方で頑張ってもらい、町民の憩いの部分は町の方でしっかり考え、事業者と協力しながらやっていく。

【参加者】

民間業者は上手いかなければ撤退するだけなので、選定はしっかり考えてもらいたい。アウトドアブームも斜陽ではないかと感じる。流行にあまり流されないようにしてほしい。

【町長】

私としては、ネームバリュー、会社の体力も必要だと思っている。任せるのであれば継続的にやっていただけたらいいところではなく、5年かそれくらいで辞めるといふことにはならない。そこは慎重にやらなくてはいいと思う。

マスコミでモンベル社の話も出たが、新たな担い手として決めたわけではない。あくまでアウトドアのノウハウを活かし、ランドデザインを描いてもらおうというもの。あくまで町の構想であって、モンベルの構想ではない。この部分は町として要らない、もしくはこういう機能を入れてください、という話し合いになる。

モンベル社からは、我々が運営の全てを受けるといふ考えではなく、地元で受け皿があればそういった方々を活用したいと言っている。おそらく、工事でいうJV(共同企業体)のような運営形態になるのではというイメージを持っている。

【参加者】

存続派の中にも、どれだけの費用がかかるのか、ペイするのか深く考えず言う人もいる。色々な方策を考え、最善と思うところに進んでほしい。ただ、町民に対しきちんと説明の場を設けるべきだと思う。

【町長】

説明会で、町民全体にアンケートを取って存続の是非を問いかけてはどうかとの意見があった。しかし、それをやってしまうと、スキー場に行ったことがない、使ったことがない人にとっては自分には関係ない、山は要らないということになりかねない。

両方の意見を全て叶えることはできない。どこかで町として、色々な意見を聞いたなかでこういう方向に持っていくという決断をしなくてはならない。しかし、意見を聞かないで強引に進めるわけにはいかないので、今のような手順を踏んでいきたいという考えである。

費用の話でいうと、施設の老朽化が進んでおり、単純に居抜きで新しい事業者が来てそのまま営業できる状態ではないと思う。一年間休止すると配管も傷んでくるため、改修など何らかのお金はかかってくると思

ている。総事業費で見ると一定の額になるかもしれないが、町としての負担がどのくらいになるのか、皆さんの直接の負担がどのくらいになるのかお示し議論していただきたい。総事業費だけを見ると大きな金額となり、それをもって駄目だという判断をされてしまうと何もできなくなってしまう。国の補助制度など活用し、何とか町の負担を少なくすることで理解をいただきたい。

【参加者】

新嵐山の中に、子どもが遊べるような大型遊具があると良いと思う。子どもが遊べる場所があれば、大人もついてくる。

【町長】

新嵐山株式会社でも、実は夏シーズンに遊べるようなものを用意しており、お客さんに来ていただいていた。しかし、端的にいうと収益に結びつかず、一番の収入はリフト代であった。

ご意見にあった、子どもが遊べるようなものは大事だと思っているが、アウトドアに適した環境なのでそういったものをメインにしてやっていくのが良いのではと思っている。また、高齢者の健康増進という観点も大事だと思っている。

【参加者】

幕別、南富良野のスキー場は町の小中学生のリフト利用料が無料と聞いた。子どもの来る量がすごく増えており、大人もそれについてきて、トータルのお客さんも増えているようだ。

【町長】

スキー団体との話し合いの中でも、そういったご意見をいただいている。参考にさせていただきたい。

【参加者】

夏にどう人を呼び込むか考えたとき、スポーツができる環境があれば良いのではないかと思う。新嵐山でスポーツ教室のようなものを開催してはどうか。

【町長】

人の集まる機会のアイデアとして、参考にしたい。

【参加者】

合同墓について、どこまで進んでいるのかお聞きしたい。

【環境土木課長】

合同納骨塚については、複数回町民アンケートを実施してきた。年々利用したいという方が増えてきており、令和5年度にはかなりの割合となった。町には13の宗教団体があり、意見交換を重ねた結果、概ね賛成いただいた。

時代も変わってきており、子ども達に自分のお墓を管理してもらうのは大変という話もあり、合同納骨塚の需要が高まってきている。現在、管内の状況を把握しながら、どのような人が利用できるのか、規模設定はどうするのか検討していきたい。現在、令和7年の整備を考えている。

【参加者】

整備をするという方向で動いているということか。

【町長】

基本的にはやるという方向。ただ色々な条件があり帯広や音更の合同納骨塚は多数の人が来て、二基目を建てなくてはならない状況。時代もあり、お墓の管理が難しくなっているのはある。しかし、合同墓なので一度納めてしまうと出し入れはできない。

お寺のなかでも独自に合同墓を持っているところもあるため、そういったところもPRしていかなくてはならない。13の寺院などとそういった調整をさせていただいた上で、令和7年度の整備に向かっていくイメージである。

【参加者】

利用にあたり、一人当たりの負担額など心配。

【町長】

それはこれからの調整事項となる。あとは条件設定

で、町外の方はどう受け入れるか、もしくは受け入れないなど設定が必要。

【副町長】

帯広市は条件が比較的條件が緩く、市外の方も受け入れており、管理が大変なようである。

【町長】

その辺りの条件設定を令和6年度にきちんとしなくてはと考えている。需要と供給ではないが、受け入れ数を考えなくてはならない。

【参加者】

先日、日甜にお邪魔する機会があり見学させていただいた。去年から見学を受け入れており、芽室小学校4年生が来ていた。西小学校からは受け入れはないのかお聞きしたところ、西小からそういう話はないとのことだった。

せっかく良い施設があるので、4つの小学校にそういった機会を設けさせてはどうか。日甜の方からは、見学に来られない場合は出前授業で学校に行くこともできる旨を言っていた。

【教育長】

学校ごとに、学年に合った見学場所を選定しながらカリキュラムを組んでいる。カルビーや明治など町内外いろいろ行っている。提言いただいたように、日甜さんも選択肢の一つとして学校に情報提供したいと思う。

コミュニティ・スクールということで、多くの地域人材を活用しながら学校の教育の質を高めたり、地域との繋がりを深める活動を行っている。

【参加者】

コミュニティバスについて。健常者しか乗ってはいけない決まりはあるのか。親戚が足も悪く、高齢になったため免許を返納した。夏は押し車でどうにか買い物に行けるが、冬はそうもいかない。

コミュニティバスに乗ろうとしたところ、杖をついていたのか、段差が高くて乗れなかった。運転手さんからは介助もなく、タクシーを使ってくれと言われてしまっ

た。確かに介護バスではないので、介助とまではいかなくとも、人もさほど乗っていないようなので、もう少し親切にしてほしかったとのことだった。

【町長】

今、バスの調子が悪く代替車で運行をしている。それで段差が高くなっている。それもあるが、対応については私どもから会社にお伝えする。

【副町長】

バス自体ももう生産していない型なので、中古の部品を取っているか、新品の部品を取り寄せている。しばらくお時間をいただきたい。

利用者数でいうと、実は他の町のバスと比べると倍以上乗っている。一便あたりのカウントのため、一区間だけ乗っても一として計上されるが、一便あたり8、9人乗っている。他の町に行くと2、3人というところが圧倒的に多い。あまり見えないが、利用の数としては優秀な方である。

【町長】

時間帯もある。朝一番の便だと用事のため乗車する方が多いが、どうしてもバスを見かけるのはお昼前後の空いている時間帯。利用者が多いように見えないというのはある。

これから運転免許の返納も増えていくと考えられ、大事な交通機関になってくると思う。

【参加者】

上水道について。毛根は全部新しくなったと思うが、古いものが畑を通っている。以前自分の畑で上水道の管が2回破損し、掘って直すこととなった。しかし、どれだけ掘ったのか、どうやって直したのか地権者に何の説明もなかった。そのような状態で、工事業者は町に適切な請求をしているのか。

【町長】

完了検査を行っており、役場と業者の間ではどういったことをやったのか共有できていると思われる。しかし、地権者の土地を動かしているので、地権者への説

明は必要だと思う。水道課に確認したい。

【参加者】

古い配管で、生きているのか死んでいるのか分からないものもある。工事のとき、設計図もない古い管があるという話も聞いている。インフラの設計図がないのはどうかと思う。

【副町長】

一度、全体の交通整理をした方が良いと思う。

16時5分終了

